

ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第24号 2012年2月発行



2月となりました。ラニーニャ現象の影響もあり、今年の日本は1月から本格的な冬らしい寒い日が続き、2月も寒い日が続きそうですが、海外ロングステイヤーにとっても、寒い日本から常夏のインドネシア・ロンボク島やバリ島に行って日々過ごすことは少しぜいたくに思えるかもしれません。

でも今年のようにラニーニャ現象発生時、インドネシア周辺では積乱雲が発達しやすいらしく、時期的にもインドネシアは雨季になっているため、去年のタイのように洪水被害が起きることも少し心配されます。

さて、筆者自身も会社をリタイアして2年目となり、日本の寒い時期や花粉症が辛くなる時期に、暖かくて花粉症にもならない場所で過ごすことを計画していました。また、日々の費用がそれほどかからない地域でロングステイしてみることも一つの計画でしたが、今これを実行し始めました。

もちろん、ロンボク島は避寒面や費用面ではあまり問題はありません。ただ、ロンボク島を含めインドネ



筆者がバリ島・サヌールでよく利用する知り合いの Taman Agung Hotel



バリ島からロンボク島へ、東へ30分程度飛ぶ。下にバリ・ブノア半島が見える



昨年10月に開港したばかりの新しい空の玄関となったロンボク国際空港

シア全体でも言えることなのですが、安全面や医療面ではまだまだ不十分さはあると感じています。

よって、ロンボク島でのロングステイは元気なリタイアメント世代が海や山でのんびり、またスポーツなどのレジャーをどんどん楽しみながら過ごす、活動的なロングステイになるかと思います。最近話題となっている介護型ロングステイに関しては、ロンボク島ではまだ準備期間中です。

また、以前からもお伝えしていますが、インドネシアの雨季は熱帯型雨季で、雨はスコール型です。一日中雨が降るわけではなく、日中は晴れ間も多くてレジャーを楽しむにはそれほど問題はありませんが、急なスコールで濡れてしまうことが苦手な方には携帯傘を持っていくことをおすすめします。

でも雨季にもメリットがあります。一年を通して果物類が豊富となり、また一番美味しい季節です。ロンボクには道端にたくさんの露店があり、好きな果物を山のように購入してもその費用はわずかですので、ロングステイヤーにとっては果物を水代わりに購入し、食べてもジュースにして飲んでも良いかもしれません。

寒い日本から暖かい南国に逃避し、ロングステイを楽しんでいる筆者に、お許しあれ。



雨季のロンボク州都マタラム市内の果物露店商



2月ギリ・メノの海岸風景



2月ロンボク本島でのサンセット



2月ロンボク本島ゴルフ場リンジャーニCCにて

★マリーナ・スポーツが満喫できるギリ・メノ & Casablanca にぜひお越しください★

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

Casablanca

の問い合わせは、 shimaint@r4.dion.ne.jp へ